



受講者募集説明会

令和8年度埼玉県ノーコードツール活用プログラム

本日の内容

1. 本事業の目的と支援内容（埼玉県産業振興公社 岡様）
2. プログラムスケジュール
3. 支援対象範囲（CRUD中心）及び成果イメージ
4. ノーコードツールの概要と選択基準
5. 応募手続きのポイント
6. 質疑応答

本事業の目的と支援内容

本事業の目的

目的（趣旨）

受講事業者が自ら課題を整理し、自社の業務課題を解決する業務改善アプリケーションを
企画・開発・運用できる状態（=自走）の習得を目的にしています。

自走化のサイクル



令和7年度受講事業者の取り組み成果



時間計測アプリ

月あたり **32** 時間削減

Excelへの手入力作業を削減
管理者の負担を大幅に軽減！



不良記録アプリ

月あたり **50** %削減

記録のペーパーレス化を実現
転記集計時間が半分に！



備品管理アプリ

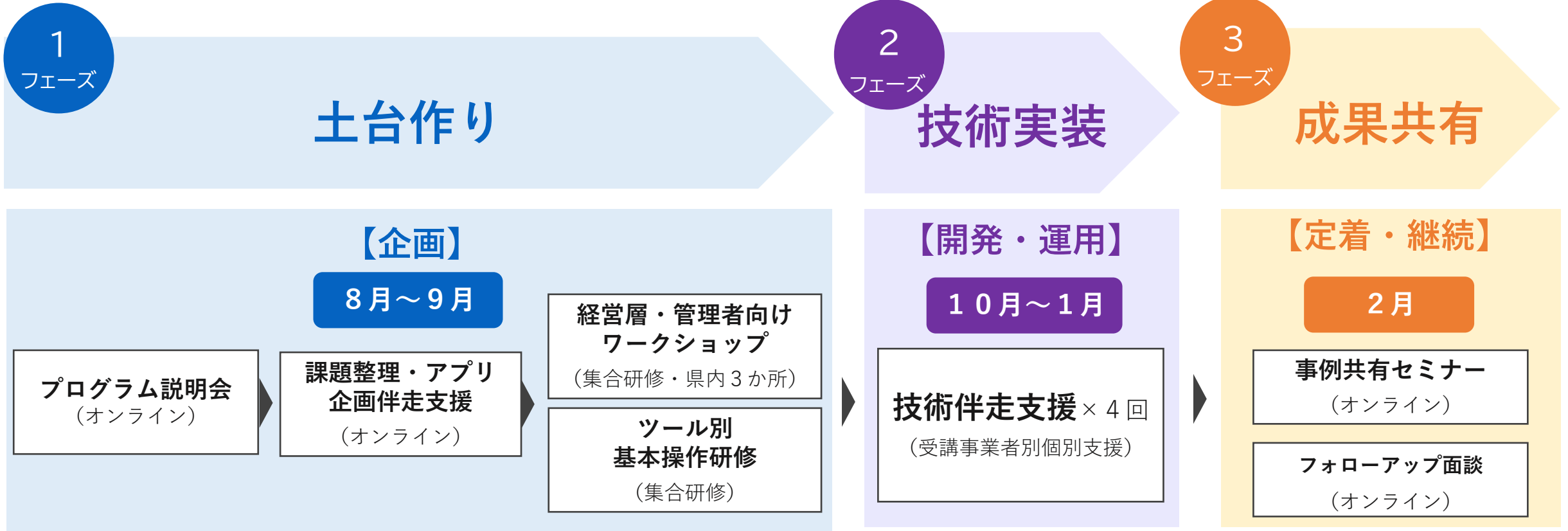
年間 **24** 万円削減

既存ツールの置き換えに成功
年間コストの削減に！

外部に頼りきらず、社内に「知見」を残すプログラム設計

プログラムの全体像

着実なステップで『自走』へと導く、段階的なサポートプログラム



8月～2月 受講者専用ポータルサイト【学習】

ノーコードツールの基礎スキルの習得、活用事例やアプリ開発のヒントを学ぶ

応募要件

ア 次のいずれにも該当する法人又は個人事業主であること。

① 中小企業基本法第2条に規定する「中小企業者」であること。

② 埼玉県内に登記簿上の本店若しくは主たる事務所、技術開発又は生産の拠点を有すること。

③ みなし大企業でないこと。

(以下に該当しないこと。発行済株式の総数又は出資金額の総額の2分の1以上を同一の大企業が所有している中小企業、発行済株式の総数又は出資金額の総額の3分の2以上を大企業が所有している中小企業、大企業の役員又は職員を兼ねている者が、役員総数の2分の1以上を占めている中小企業)

イ 公序良俗に対する違反等がなく、法令を遵守していること。

ウ 代表者、または法人の役員が、暴力団等の反社会的勢力でないこと。

エ ITベンダー等、自社事業としてアプリ開発やDX支援を提供する事業者でないこと。

オ 昨年度に本伴走支援事業を受講した事業者でないこと。

【重要】対象外となる団体・事業者

- ・ **NPO法人、一般社団・財団法人、公益法人、社会福祉法人等**は支援の対象外となります（中小企業基本法上の「中小企業者」に該当しないため）
- ・ **ITベンダー等の専門事業者**（自社事業としてアプリ開発やDX支援を提供している場合）
- ・ **昨年度（令和7年度）の本事業受講事業者**（より多くの企業へ支援を広げるため）

【ご案内】相談窓口

申込に迷ったら...

【事務局】：「どのツールが合うか」「応募手続き・スケジュール」など、具体的な募集内容の相談

【DXコンシェルジュ】：「どのツールが合うか」「応募手続き・スケジュール」など、DX全般の視点から助言



【事務局】応募手続き・ツール選択

株式会社ジャパン・エンダストリアル
担当 杉山、金森

TEL：03-4563-9902

E-mail：saitama-dx@emdustrial.com

【主催】課題整理（DXコンシェルジュ）

埼玉県DX推進支援ネットワーク
（公益財団法人埼玉県産業振興公社DX推進支援グループ）

TEL：048-647-4088

E-mail：info@saitamadx.com

▼DX相談フォーム

<https://www.saitamadx.com/digital-sodan>

申込前に方向性を確認することで、採択後のミスマッチが防げます。

本プログラム受講に係る留意事項

本プログラム受講にあたっての留意事項をご説明します。



自社主体の意識

講師によるアプリの代行作成ではなく、受講事業者が主体となってノーコードツールの活用・開発に取り組む意識が必要です。



体制

経営層の理解・同意を得た「プロジェクトチーム（複数名・複数レイヤーでの参加を推奨）」を社内に立ち上げ、チームで受講してください。



受講・学習時間の確保と環境整備

伴走支援や各種セミナーの受講に加え、自主学習の時間を組織的に確保するとともに、受講に必要なPCやネットワーク環境、現地支援用の場所を自社で整備してください。



支援内容・範囲の理解

本事業の支援範囲（CRUD機能が中心）を理解し、円滑な実施のための資料提供やアンケート、ワークシート等の提出に協力してください。



実績公開・広報への協力

作成したアプリの概要（企業秘密を除く）や活動写真について、公社の実施記録としての公開や広報活動に使用することを承諾いただく必要があります。

プログラムスケジュール

事業スケジュール 1/2

	日程	実施方法
01 プログラム説明会 プログラムの概要・スケジュール・必要な手続き方法を知る	令和8年 8月5日（水）	オンライン 開催 
02 課題設定・アプリ企画伴走支援 1回 課題をヒアリングし、アプリ開発の内容と目標を設定する	8月17日（月） ～9月18日（金）	オンライン または現地個別支援 
03 経営層・管理者向けワークショップ ノーコードツールの自走的な活用に向けて必要なことを学ぶ	大宮会場 8月24日（月） 熊谷会場 8月25日（火） 川越会場 8月28日（金）	現地集合開催 
04 ノーコードツール基本操作研修 各ツールの特徴や基礎的な操作方法、アプリ開発の基本的な考え方を学ぶ	kintone 9月17日（木） AppSheet 9月18日（金） Power Apps 9月25日（金）	現地集合開催 （ツール別） 

事業スケジュール 2/2

05

技術実装伴走支援 4回

講師とともにアプリ開発及び運用計画の策定に取り組む

令和8年 10月 ~ 令和9年 1月

現地個別支援
(受講事業者事務所)



第1回 (10月)

アプリの基盤構築

データベースや画面デザインなど、利用者視点で使いやすいアプリを具体化する

第2回 (11月)

初期版アプリの開発

データベースの登録や主要な機能を実装し、初期版アプリを開発して現場試用を行う

第3回 (12月)

完成版アプリの開発

現場試用の結果を踏まえて改善点を抽出し、アプリを改修して完成版アプリを開発する

第4回 (1月)

運用計画書の作成

アプリやデータの管理方法、運用体制・役割分担を整理し、運用計画書を作成する

06

事例共有セミナー

事例共有やパネルディスカッションを通じ、取り組み成果を振り返る

令和9年
2月16日 (火)

オンライン
開催



07

成果を社内へ展開・自走化へ

開発した業務改善アプリを社内で利用・改善を重ね、ノーコードツールを自走的に活用できる体制に！



支援範囲と成果イメージ

企画・開発・運用のサイクルを支援します

アプリ開発は、企画・開発・運用改修の3つのステップがあります。
本プログラムではこれらのステップを1周し、自らサイクルを回すことができるよう支援します。



業務改善アプリとは



業務改善アプリとは、日常業務を効率化するためのシステムのことです。

..... 例えば次のようなものがあります。



設備点検
管理アプリ



日報管理
アプリ



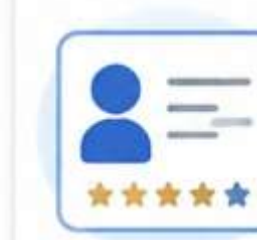
問い合わせ
管理アプリ



備品貸出
管理アプリ



在庫管理
アプリ



顧客管理
アプリ



これらは大規模な基幹システムとは異なり、
現場の担当者が抱える身近な課題を解決するために作られます。



業務アプリの基本機能 CRUD（クラッド）

業務アプリはCRUDと呼ばれるデータ操作の基本機能があります

C Create
作成

新しいデータを作成する



R Read
読み取り

データを取得・参照する



U Update
更新

データを更新・変更する



D Delete
削除

データを削除する



例) 点検記録アプリ

点検を記録

点検履歴を確認

内容を修正

誤登録削除

CRUDで開発できるアプリ一覧

1 顧客・営業管理系

顧客情報や営業活動をまとめて管理

-  顧客台帳
-  名刺管理
-  商談管理（簡易）
-  問い合わせ管理
-  営業日報

2 総務・バックオフィス系

社内のモノ・情報を効率的に管理

-  備品管理
-  PC・IT資産管理
-  会議室予約（簡易）
-  社用車管理
-  来客受付管理

3 人事・教育・採用系

社員情報や教育・育成をサポート

-  社員名簿
-  資格管理
-  研修受講記録
-  面談記録
-  インターン管理

4 日報・報告系

日々の記録や気づきを簡単に共有

-  業務日報
-  現場報告
-  クレーム記録
-  ヒヤリハット
-  改善提案管理

5 受付・申請・貸出系（承認なし）

申請や受付、物の貸出をシンプル管理

-  備品貸出管理
-  出張記録
-  有給申請（簡易版）
-  問い合わせ受付
-  ITサポート受付

6 店舗・サービス業向け

お客様や商品の情報を整理・活用

-  顧客カルテ
-  予約台帳
-  商品管理
-  接客記録

7 現場・作業・設備管理系

現場や設備、道具の管理に

-  現場日報
-  設備点検記録
-  工具貸出管理
-  在庫管理（簡易）
-  安全点検記録

CRUDで実現できる業務改善

CRUDで実現できるシンプルな仕組みでも、業務は大きく改善することができます。



このような改善だけでも、多くの企業で年間数十時間から数百時間の削減効果が期待できます。



AppSheet開発事例 ～吉田キャスト工業株式会社～

会社概要

事業内容 : ロストワックス鋳造機メーカー
従業員数 : 10名
受講体制 : アプリを開発する人 1名
業務がわかる人 0名
支える人 1名 (経営者含む)

デジタル化に取り組んだ課題

外出先からの在庫確認は電話でしかできず、時間のロスが大きかった。また、既存システムは老朽化しており操作に時間がかかるため、棚卸が年次のみしかできていなかった。



開発したアプリ

アプリ名 : **倉なび (在庫管理アプリ)**

PC・スマートフォンで、いつでもどこでもリアルタイムの在庫数や金額を確認できる。スマホ操作が苦手な方でも安心して使えるよう、ボタンを押すだけのシンプルな設計に。

開発したアプリのイメージ

在庫一覧

商品ID
All
YG系 1kgネジ式カーボンツボ
YG系 500gカーボンツボカバー
YG系 500g一体型カーボンツボ

M商品マスタ Detail

入出庫

商品ID
0081

保管場所ID
D-3

QRコード

D入出庫ログ Form

商品ID*

処理タイプ

入庫 出庫 棚卸

数量*

0 - +

記録番号

Cancel Save



Power Apps開発事例 ～来ハトメ工業株式会社～

会社概要

- 事業内容 : アルミケース・アルミ製リベットの製造
- 従業員数 : 35名
- 受講体制 : アプリを開発する人 1名
業務がわかる人 1名
支える人 1名 (経営者含む)

デジタル化に取り組んだ課題

不良の発生状況を「作業日誌」に手書きして転記している。製造と管理の情報の一元化し、作業時間削減を教育に充てることで、次世代の専門人材育成に注力したい。



開発したアプリ

アプリ名：**不良・クレーム記録**

発生した不良内容を担当者が入力・登録する。不良内容の転記、集計時間を**50%**削減した。**3枚**の画面で「入力・編集・更新・検索」が可能。アプリからマスター登録できる機能を実装。

開発したアプリのイメージ




令和7年度受講事業者の取り組み

特設サイトでは他にも「令和7年度受講事業者の取り組み」をご紹介します。
特設サイトの中段にリンクを掲載しています。

埼玉県DX推進支援ネットワーク


ノーコードツール活用プログラム活用事例

 プログラム使用ツール：kintone

有限会社アベソルダー

埼玉県DX推進支援ネットワーク


ノーコードツール活用プログラム活用事例

 プログラム使用ツール：AppSheet

株式会社モリチュウ

埼玉県DX推進支援ネットワーク

ノーコードツール活用プログラム活用事例

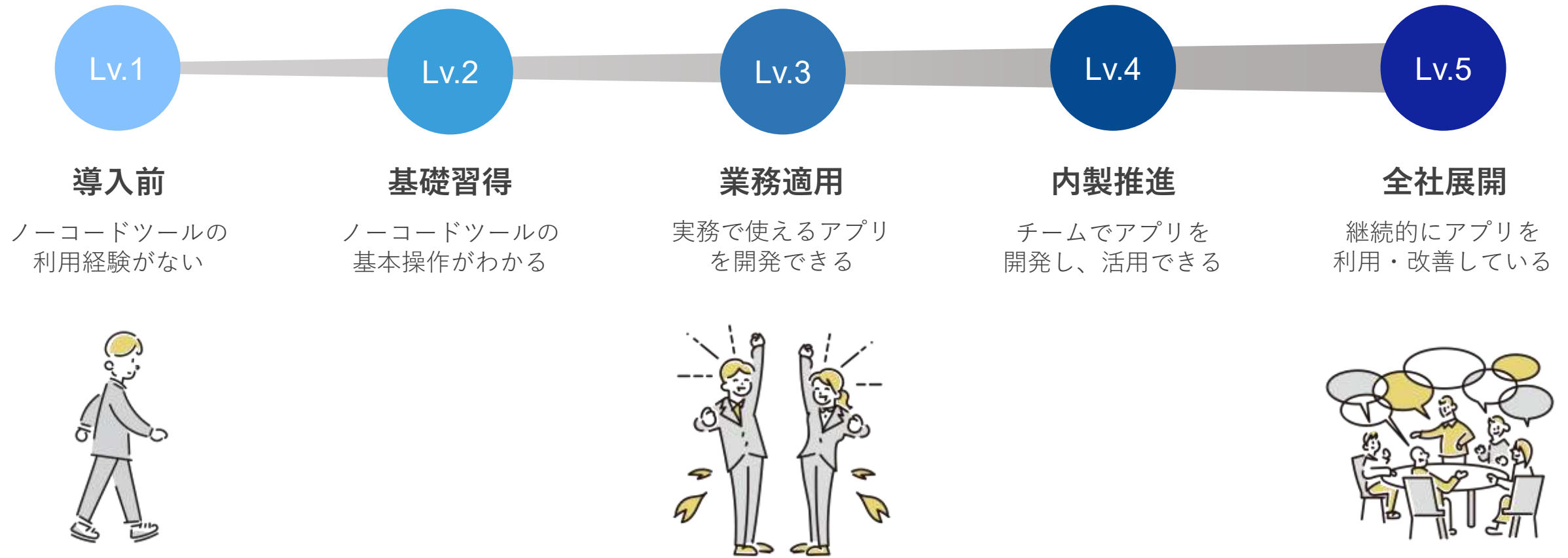
 プログラム使用ツール：Power Apps

株式会社長谷川製作所

<https://saitama-dx.emdustrial.co.jp/>

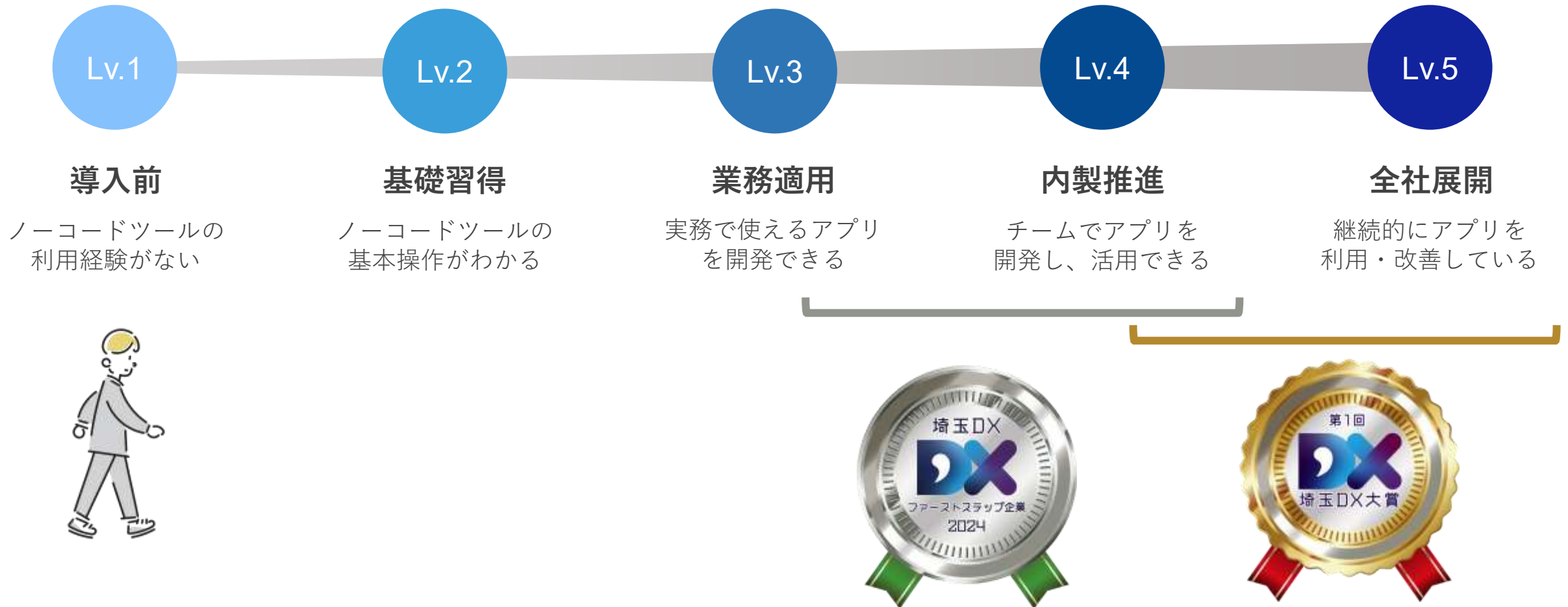
ノーコードツール活用のステップ

ノーコードツールが社内に浸透し、利活用が進むまでには5段階のステップがあります。
自社の現状を踏まえて、プログラムで目指す目標レベルを設定します。



ノーコードツール活用のステップ

埼玉DX大賞・埼玉DXファーストステップ企業を受賞するような取り組みは、レベル3以上のステップに到達していると言えます。

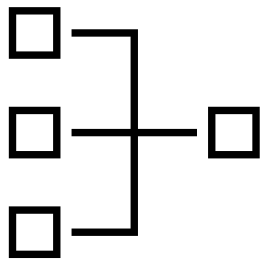


ノーコードツールの概要と選択基準

DXにおけるノーコードツールの価値

ノーコードツールを活用することで、自社により適切なデータの収集や活用の仕組みを構築できる。
また、開発を内製化することで、継続的な変化に対応できる基盤をつくることができる。

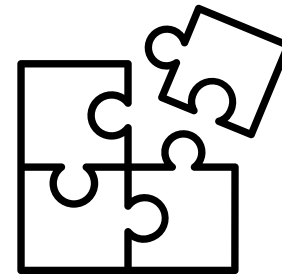
通常システム開発



システム開発に必要な要素を自ら用意し、システムを動かすプログラム全て開発する必要がある

複雑な機能を持つシステムを自在に開発できるが、**専門性が高いため開発コストが高い**

ノーコードツールの場合



パズルのように、用意されているパーツを組み合わせることでシステムを開発できる


あらかじめ用意されている機能でシステムを開発するため、**学習しやすく、柔軟に開発することができる**

各ツールの比較

項目	kintone	AppSheet	Power Apps
提供元	サイボウズ	Google	Microsoft
特徴	直観的な操作がわかりやすい。 日本語の資料が多い。 高度な機能には追加のプラグイン（有償・無償）が必要となります。	アプリの作成、簡単なフローの作成をAppSheetの中でまとめて実現できる。 kintoneと比較すると、機能の開発がやや複雑。	PowerPointのように画面をデザインし、Excelの関数を組み合わせるようにアプリの機能を作成する。 使いこなすためには学習が必要だが、拡張性が高い。
習得しやすさ	★★★★	★★☆	★☆☆
カスタマイズ性	★☆☆	★★☆	★★★★
日本語の資料	★★★★	★☆☆	★★★☆☆
データベース	独自	Googleスプレッドシート ／ Google Drive	Excel / SharePointリスト
セキュリティ設定	サイボウズの管理	Google認証基盤	Microsoft Entra ID
注意点	最低10ID～の契約が必要	開発画面は全て英語で記載されている	—

ツール選びの観点①

利用環境とは、**普段使っているIT環境との相性**です。Microsoft 365を使っているのか、Google Workspaceを使っているのか、または特定の環境に依存せず始めたいのかなど、現在の状況によって利用しやすいツールが変化します。

自社の利用環境	(具体例) 関連サービス・データの置き場所	検討しやすいツール
 Microsoft 365を日常的に使っている	 SharePointリスト、Teams、Outlook、Excel、OneDriveなど	 Power Apps
 Google Workspaceを日常的に使っている	 Googleスプレッドシート、Googleドライブ、Gmail、Googleフォームなど	 AppSheet
 特定の環境に強く依存せず、部門主導で始めたい	 kintoneアプリ内データベース、Excelから移行した一覧データなど	 kintone

ツール選びの観点② 学習コストで考える

学習コストとは、アプリを作る人、修正する人、運用する人が、ノーコードツールやアプリ開発についてどれくらい学ぶ必要があるかという観点です。

ツール	学習コストの目安	考え方
 kintone	低め	分かりやすく始めやすい。標準機能で始め、必要に応じてプラグイン（無料・有料）で拡張可能
 AppSheet	中程度	Googleスプレッドシートを活かして、現場入力アプリを作りやすい
 Power Apps	高め	自由度が高く、本格的な業務アプリ開発まで対応しやすい

学習コストを考えるときは、**ツールの自由度（＝アプリで実現できる機能がどれくらいあるか）との関係**を見ると分かりやすくなります。一般的に、自由度が高いツールほど、できることは増えてますが、設計や設定で学ぶことも増え、学習コストが増加します。

導入・継続費用も忘れずに確認！

どのツールを選択しても基本的には費用が発生します。プログラム終了後もアプリを使用するためにはライセンス費用が必要です。契約前に、合わせてランニングコストも確認しておきましょう。

	kintone	AppSheet	Power Apps
ツール単体で利用する場合	1,000円	5ドル（約800円）	2,998円
最低契約数	10ユーザー	1ユーザー	1ユーザー
既にグループウェア契約済みの場合	なし	0円 (Google Workspace契約時)	0円 (Microsoft365契約時)
ホームページ	kintone（キントーン）	Google AppSheet	Microsoft Power Apps

※価格は1ユーザーあたりの月相当の価格で、全て税抜です。

※ kintoneはプラグイン（拡張機能）を使用する場合、1,800円のライセンスが必要になります。

※本プログラムで使用するうえでも、ノーコードツールのライセンス料は自己負担となります。

グループウェアとは、**会社の情報共有やコミュニケーションを1つにまとめるためのソフトウェア**です。例えば、社員同士で仕事をする際には、スケジュール管理（カレンダー）、メール、チャット、ファイル共有、社内掲示板などが必要になります。グループウェアは、これらをまとめて利用できる仕組みです。

詳しくはこちら

特設サイトではより詳しくノーコードツールの選び方をご説明しています。
ツール選定の際には併せてご参照ください。

☒ ノーコードツール、どうやって選ぶ？



ノーコードツールは種類が多くて、どれを選べばいいかわからないな...






ツール選びのポイントを押さえて、最適な一步を踏み出しましょう！

- 1 習得のしやすさから考える**
学習コストで比較し、使いこなせるようになるまでの時間を基準に選択します。
- 2 導入費用で考える**
既存の導入ツールとの相性を踏まえ、投資コストが低く抑えられるように選択します。
- 3 アプリ開発のカスタマイズ性で考える**
将来的に複雑なアプリも作れるような、カスタマイズ性に優れたツールを選択します。

<https://saitama-dx.emdustrial.co.jp/nocode-tool-choice>



操作のイメージは特設サイトで確認できます

Tool	習得しやすさ	カスタマイズ性	日本語の資料
 kintone 日本企業のサイボウズ社が提供しています。用意された パーツを組み合わせることで簡単にアプリを作成 できるため、現場主導での導入に適しています。一方で、 高度な機能はプラグインが必要となり追加費用が発生する点や、最低10IDからの契約が必要 な点に注意が必要です。 習得しやすさ ★★★ カスタマイズ性 ★☆☆ 日本語の資料 ★★★  kintoneの操作イメージ	★★★	★★★	★★★
 AppSheet Googleが提供するノーコードツールです。スプレッドシートやGoogle Driveと連携できるため、日ごろから Google Workspaceアプリ とを利用している 事業者におすすめ です。比較的柔軟な設計が可能ですが、 開発画面が英語表記 である点に注意が必要です。 習得しやすさ ★★☆☆ カスタマイズ性 ★★☆☆ 日本語の資料 ★☆☆	★★☆☆	★★☆☆	★☆☆
 Power Apps Microsoftが提供しています。画面はPowerPoint感覚、ロジックはExcel関数に近い形でアプリを構築できます。Microsoft 365 (Word, Excel, Outlookなど)との連携が強みであり カスタマイズ性は高い ですが、 自由にアプリ開発できるようになるまでには一定の学習 が必要です。 習得しやすさ ★☆☆ カスタマイズ性 ★★★ 日本語の資料 ★★★	★☆☆	★★★	★★★

<https://saitama-dx.emdustrial.co.jp>



応募時のポイント

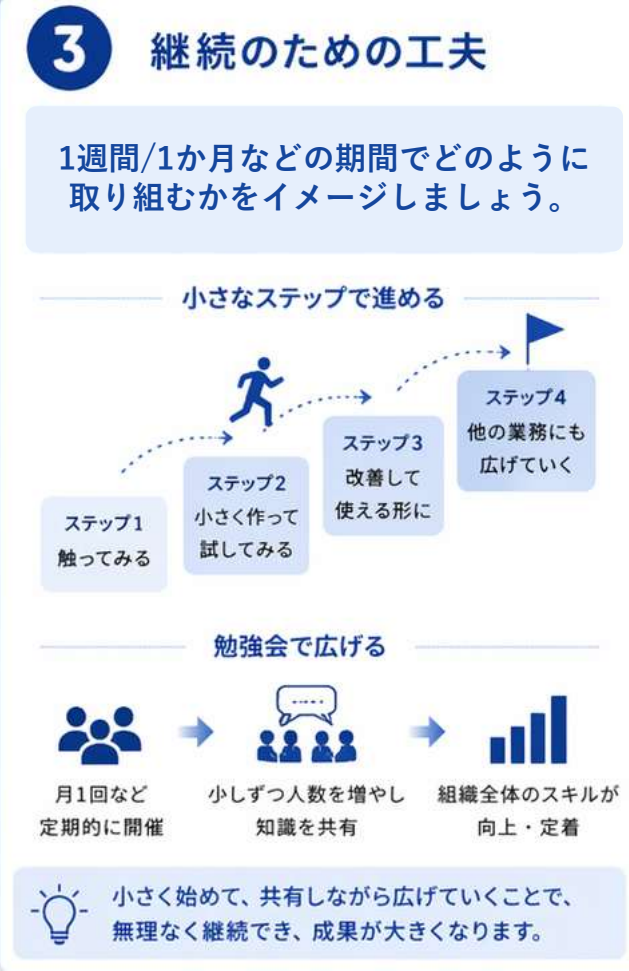
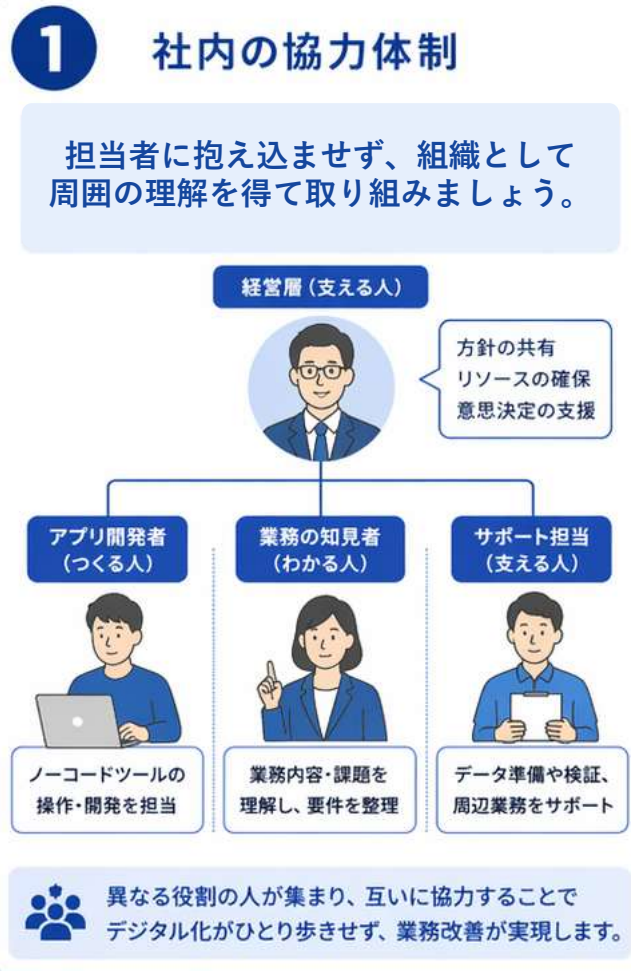
受講申込フォームに記載するポイント

受講申込書には下記の内容を記載する必要があります。
申込にあたり、自社の現状やこれからの展望を見据えていただく時間も大切です。



ポイント① 自走化に向けた体制づくり

応募フォームでは、「自主的な学習時間を確保するための方法や考え方、時間」を伺います。
以下のような観点で、「自社でどのような受講体制で臨むか」を記載してください。



特設サイトではより詳しく学習時間を確保する方法をご説明しています。
お申込みの前に、ぜひ一度ご参照ください。

☒ 自主的な学習時間、どう確保する？



日々の業務で手いっぱい...
学習の時間を
とるのが難しい...



自主学習時間の確保のために、1週間の使い方を見直してみましょう！

- 1 1週間に30分など、短い時間でも学ぶ時間を確保する
短い時間でもコツコツ継続することが大切です。
- 2 次回の伴走支援までに1つだけ新しいことに挑戦する
小さな一歩が、自信と成果につながります。
- 3 学んだことを業務に活かして、振り返りましょう。
使ってみることで理解が深まり、モチベーションも上がります。

<https://saitama-dx.emdustrial.co.jp/time-management>



ポイント② ツールの選定

受講申込にあたり、プログラムで使用するノーコードツールを選択する必要があります。
選定方法を参考に、どのツールを使用するのかを決定する必要があります。

1 ツールの特徴 (ざっくり)

 kintone <ul style="list-style-type: none">・ドラッグ&ドロップで簡単・業務アプリ作成に強い	 簡単・始めやすい
 AppSheet <ul style="list-style-type: none">・Google連携に強い・バランスの良い機能	 バランス型
 Power Apps <ul style="list-style-type: none">・高機能で自由度が高い・拡張性が高い	 高機能・自由度高い

2 選び方①：利用環境との相性

普段使っているIT環境に合わせて選ぶ

 Microsoft 365 を日常的に使っている	➔	 Power Apps
 Google Workspace を日常的に使っている	➔	 AppSheet
 特定の環境に依存せず、まずは始めたい	➔	 kintone

3 選び方②：学習コストで考える

自由度が高いほど、学習コストも上がる

 低い	➔	 kintone シンプルで分かりやすく、すぐに使い始められる
 中程度	➔	 AppSheet Googleの仕組みを活かし、現場入力アプリが作りやすい
 高い	➔	 Power Apps 自由度が高く、本格的な業務アプリ開発に対応

ツール選定にお悩みの際は、事務局までご相談ください。

質疑応答

Q&A欄にてご質問を受け付けております。ご不明な点はお気軽にご質問ください。
この場で回答できなかったご質問は、後ほどご参加の皆様へメールにてご回答いたします。

お問い合わせ先

受講申込はこちら

募集要項を必ずご確認ください

申込フォーム【令和8年度埼玉県ノーコードツール活用プログラム】



<https://forms.office.com/r/zFr83bmQXu>

お問い合わせ先

▼事業内容・応募手続・ツールの選び方を相談したい場合

埼玉県ノーコードツール活用プログラム事務局

担当 杉山・金森

電話 03-4563-9902

メール saitama-dx@emdigital.com

▼自社の課題を整理したい場合（DXコンシェルジュ）

埼玉県DX推進支援ネットワーク相談窓口

担当 園部（DXコンシェルジュ）

申込み 専用フォームからお申し込みください

<https://www.saitamadx.com/digital-sodan>

ご参加いただきありがとうございました。
皆様からの申込をお待ちしております。